



「みたか商工まつり」で広報活動

東京地本西東京地域事務所（所長 長谷川3陸尉）は7月13・14日の両日、三鷹市役所において開催された「第42回みたか商工まつり」に参加した。

「みたか商工まつり」（主催：三鷹商工会）は、三鷹市の商工業の発展と市民とのふれあいを目的としており、100以上の団体・企業・大学等が出展し警察、消防も協力している三鷹市でも大きなイベントの一つである。

当日は三鷹市の募集相談員2名の協力を得て、自衛隊制服等の試着や東京地本キャラクター「トウチ君」との写真撮影会を行ったほか、戦闘防弾チョッキや戦闘用背のうの装着体験及び車両展示を実施した。

特に高機動車と偵察用オートバイの前では、イベントの終了を通じ、写真撮影待ちの列ができる程人気を集めた。また、来場者は実際に戦闘防弾チョッキを装着してその重さを体感し、「初めて自衛隊の車両に乗りましたが、思っていたより視界が狭いですね」「実際の装備品を見て、ますます自衛隊に興味を持ちました」等、防衛省・自衛隊へ関心をもちつきかけになったとの声が多数聞かれた。

西東京地域事務所は、今後も様々なイベントへの参加を通じて、より多くの皆様に自衛隊への理解と魅力を深めてもらえるよう広報活動を実施していきたいとしている。



「おおた防災フェス」で防災意識を向上

東京地本大田出張所（所長 須藤2海尉）は7月14日、大田区池上会館において開催された「おおた防災フェス」に参加した。

これは、東京青年会議所大田区委員会が「大人も子供も楽しみながら防災を学ぼう」をキャッチフレーズに初めて企画したイベントであり、防衛省・自衛隊のほか、大田区、東京消防庁等が協力して実施し、地域住民等500名以上が参加した。

大田出張所は「身近な道具を使った防災体験」コーナーを担当し、来場者に対し「自衛隊防災Book」からヒントを得て、「街にいて地震が起きたらどうするか」「コンビニで地震が来たらどのような行動を取るべきか」等、防災に関する基礎的な質問をクイズ形式で出題し、わかり易く解説した。

また、災害等において役立つ技術として、YouTubeの自衛官募集チャンネル等でも配信中の「LIFE HACK(ライフハック)」等から抜粋した「1人で人が人を運ぶ方法」「2人で人が人を運ぶ方法」「上着で担架を作る方法」「ロープワーク」等を実演しながら説明した。実際に体験した参加者からは「思ったより簡単にできた」「実際に使えそう」などの声が聞かれた。

大田出張所では今後も地域に密着した広報活動を積極的に実施するとともに、防衛省・自衛隊の活動に対する区民等の理解と関心を高め、防衛基盤の強化に努めるとともに、防災意識の向上に寄与していきたいとしている。



江戸川区防災訓練で自衛隊の活動を広報

東京地本新小岩募集案内所（所長 山本2陸尉）は7月25日、江戸川河川敷において実施された江戸川区総合防災訓練において広報活動を実施した。

この防災訓練は江戸川区が主催し、防災関係各機関の連携を図ることを目的として毎年実施しており、当日は医療救護活動、大規模消火活動やFMラジオ・ツイッター等による情報収集伝達など様々な訓練が行われた。

新小岩募集案内所が開設した広報ブースには、防災訓練に参加した小・中学生を中心に多数の参加者が集まり、関東豪雨災害、熊本地震等の災害派遣活動の写真を見て熱心に質問する姿が見られた。また、高機動車、偵察用オートバイ、人命救助セット等の装備品やミニ制服の試着コーナーでは記念撮影を楽しみむ参加者もいて、「災害派遣等で活躍している姿を見て、本当に頼りになります」「他の自衛隊のイベントにも参加してみたい」等の声が多数聞かれた。

新小岩募集案内所では今後も地域に密着した募集・広報活動を自治体等と連携して実施し、幅広い年齢層に対して防衛省・自衛隊の活動への理解と関心を深め、自衛官募集業務に繋げていきたいとしている。

